1201100596606

禁電子式複写

53
52

E

九月一日発行

◎颱風下の記念堂に震災十五周年慰霊祭

（東京）昭和十三年九月一日

事変下に大震災十五周年を迎へた帝都は恰も前夜来の颱風に荒れまくられて惨憺たる光景を呈し随所に震災當時を偲ばせるものある二の日午前九時から東京府市共同主催で本所の震災記念堂に於て神佛両式による遭難者の慰霊祭と法要とが擧行された

寫真は(一)參拜者で賑ふ記念堂

(二)參列の湯浅内相と末次内相

◎厄日、颱風暴威の跡

猛り狂った二百十日の厄日は一日午前三時まで中央気象台開設以来第三位、二十二年振りの烈風となり同四時二十分には秒速三十一米の新記録を樹立関東一帯に暴威を逞うした。

寧真は(一)小石川附近の家屋倒壊現場

(二)芝浦岸壁の惨ノ状

(三)屋根を奪れた上野駅ホーム

(四)疊の舟が街へ出た珍風景

10
9

向盟寫眞　海外ニュース　十三年九月二日

◎萬國博の日本色

（サンフランシス）發同盟

我國の萬國博は殘念にもお流れになりました

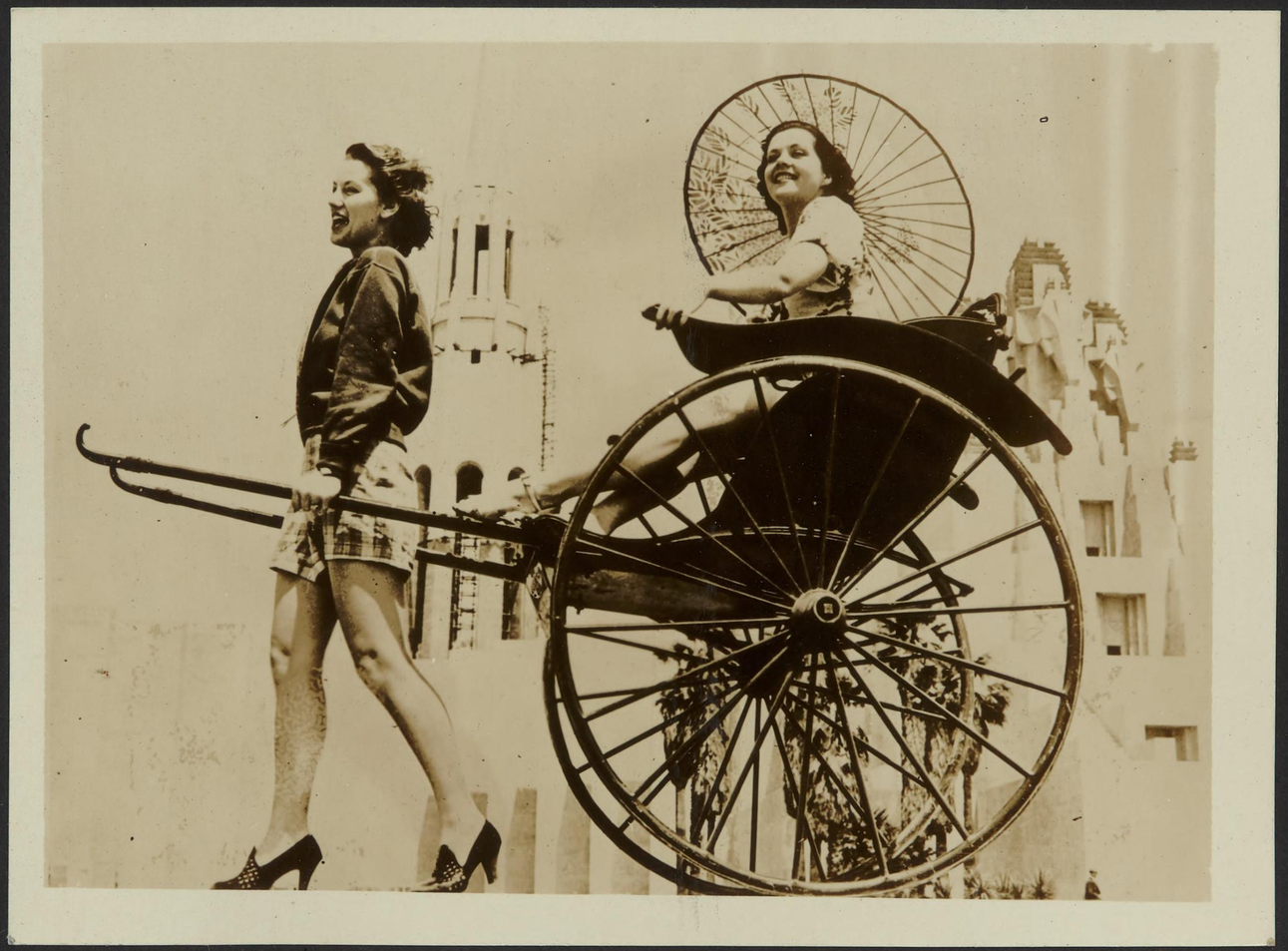
が海の彼方の萬國博は開會を來年に控へて着

々準備を整へてゐます・寫眞は會場の乘物機

關の一つ人力車に乘つたルス・ベターソン孃

の會場視察

桑港



◎英佛必死の牽制

（パリ）發同盟

獨逸のチエツコ進擊の形勢に英佛兩國は共同政策を取り對獨强硬方針をとり必死になつて牽制に務め來るべきニユールンベルグのナチス大會を以つて安危の分岐點となし佛軍部は國境方面に非常警戒を行つてゐる。寫眞はアルプス山嶽地帶の演習地に引續き居殘つて非常警戒に努める佛蘭西陸軍部隊

◎ペン部隊壯行會

（東京）十三年九月三日海軍省軍事普及部委員長、野田清少將は漢口攻略戰に從軍する文壇人を二日午后六時半から芝水交社に招待して壯行會を兼ねて懇談會打合會をやつた・寫眞はその壯行會

◎吾が子の俤を語る

海の荒鷲故南郷茂章少佐が映畵「噫々南郷少佐」になると聞いた嚴父次郎少將は二日午后南郷少佐に扮する新興の藤井貢、六車所長等を世田ケ谷の自邸に招き故少佐の日常生活、氣質などを細々と語つた。

寫眞は右から藤井、六車、南郷少將夫妻

◎獨逸展開かる

獨逸大使館、日獨文化協會主催の大獨逸展は三日から廿八日まで上野公園日本美術協會で開催、居ながらにして盟邦に遊ぶことが出來る。寫眞は獨逸軍隊服裝の變遷

◎關東學生競漕第一日

（東京）十三年九月三日

今秋スポーツ界のトップを飾る第十八回關東學生選手權競漕大會第一日は三日午前十時から荒川尾久、小台橋、尾竹橋間二千米コースに於て擧行された。

寫眞は早（右）慶（左）スタート

◎集つた悦ちやん二世

日活では今度兒童向きの映畫を製作する事になりこれに出演する第二の悦ちやんとも云ふべき名子役を一般から募る事になつた、との第一同作品は特にラヂオの小父さん關屋五十二氏がシナリオ執筆するもので四日午前九時から日活本社にて關屋氏、村岡花子、日活撮影所幹部等が審査員となりその第一回審査會が行はれた

寫眞は集つた悦ちやん二世と關屋、村岡兩氏

◎本庄總裁傷兵慰問

本庄傷兵保護院總裁は四日午前八時新宿驛發列車にて長野、富山、福井、岐阜各縣の陸軍病院慰問並に傷兵保護事務の視察のため出發した

寫眞は新宿驛にて

（）（）（）（）（）（）

◎長期水漬けに喘ぐ江東

颱風による被害、加ふるに高潮と増水によつて東京市荒川放水路をはさんで城東、向島、葛飾、江戸川の四區は水浸しとなり二十五萬の市民が海水の中にとり殘され三日の颱風以來すつかり交通も斷たれ水と病魔の恐怖に戰いてゐる寫眞は龜戸附近の慘狀

かた焼き

同盟寫眞　海外ヨリス　十三年九月五日

◎羅進航空獨逸（ベルリン）發同盟

近く我國へも飛來するコンドル機は去る八月十四日十九時間五十四秒の大記錄を以つて大西洋横斷を完成、空へ伸びゆく羅進ナチスの面目を顯はした。

寫眞はテンペルホーン飛行場に群衆の歡呼の中に下り立つたヘンケ隊長

D-ACON
Lufthansa

同盟寫眞ニュース　第一一四號

内地ニュース

◎飯塚部隊長戰死（東京）十三年九月五日

南支鐵路を南進中の飯塚國五郎部隊長は一字山の岩壁を猛攻自ら部隊の先頭に立ち指揮奮戰中三日午后一時敵彈のため遂に名譽の戰死を遂げた。寫眞は在りし日の戰線の飯塚部隊長と加納部隊長夫亡人の飯塚部隊長未亡人弔問

◎南郷少佐を偲ぶ會

荒鷲の至寶南郷少佐の五十日祭を前にして嚴父次郎少將は四日午后同期生其他關係者を水交社に招き「故少佐を偲ぶお茶の會」を催した

當日は水交社にて

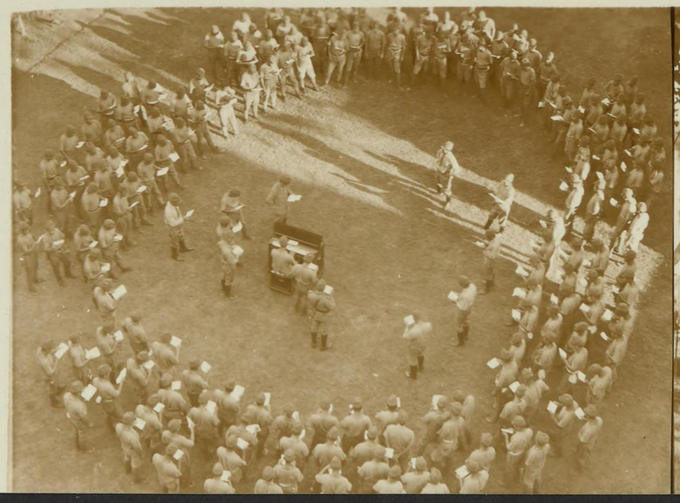
◎商大制覇成る

第十八回關東漕艇選手權大會は四日午后四時から尾久一小台橋下流二千米下航コースでスカールとフオア、エイトの各決勝を擧行、フオア、エイト共に商大の勝となつた。

當日は早商戰（手前商大）

◎「土師部隊を讃へる歌」に
部隊長から禮狀
（東京）十三年九月六日
戰線に一年有余數々の武勳を立て海軍陸の强
者と讃へられ近くは九江一番乘りの功名を立
てた土師喜太郎部隊長に海軍省軍事普及部松
島中佐が「土師部隊を讃へる歌」一篇を贈つ
たがこれが俺等の歌だとばかり大歡迎いま口
口にある同部隊の猛者達が戰線の暫くの憩ひ
を集まつては此の歌の練習だが六日土師部隊
長から松島中佐へ感謝の手紙が配達された。
寫眞は戰野に高唱する土師部隊と部隊長の書
簡

冠省
聖戦こに一歳を迎へ
回想新ふものあり
とは申せ
本日討ちぜも我隊の
戦功をかくも稍々確下
し御尊歌を拝誦仕
感激に不耐更に更に
新しき血潮の奔流
をするを覚候
御稜威はもとより
多少にても御国にとまる
勲有之ゆば凡て部ニ
一同の愛玉誠心打
土師部隊長
松島中佐殿



同盟篇眞　支那ニュース　九月六日

◎江南戰線より

一、南潯線沙河鎮の警備（レールも枕木も皆暫時に使はれて鐵路跡とも思へず）

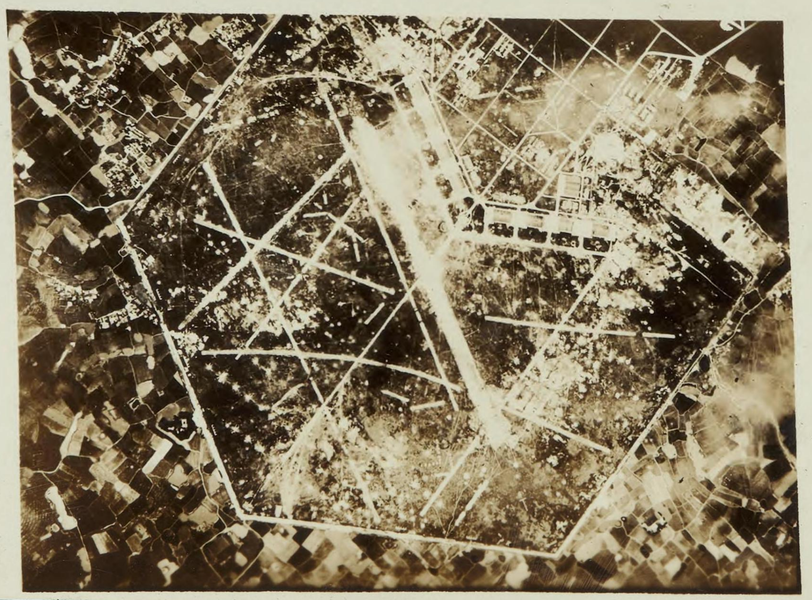
二、南昌飛行場敵軍破壞の跡

三、瑞昌に入城する平田部隊

四、五、六、土師部隊漢口へ向け出動開始

七、進發に際し軍旗に宣誓の皇軍部隊

八、平田部隊長決死隊に訓示（瑞昌にて）



3.

4.

◎西郷隆盛と谷干城の末孫

大陸の戰線に結んで奮戰

西郷は戰死、谷は戰病

（東京）十三年九月七日

明治十年西南の役に官軍の總帥として熊本を守つた谷干城とこれを攻めた西郷隆盛、この兩雄の血筋をひく二勇士が奇しくも六十年後の今日同じ部隊に屬して仲よく北支に從軍し一人は名譽の戰死を遂げ、一人は病んで戰線を退きいま東京第二陸軍病院臨時大倉分院にある。

白衣の身を養つてゐる。

寫眞は白衣姿の谷重城君

◎白衣勇士を聯珠慰問

名人高木氏以下有段者數名は七日午后一時東京第一陸軍病院に聯珠慰問をなしたが毎月第一・第三水曜日に聯珠盤五面は兜町の森合名會社より寄贈されたのである。

寫眞は聯珠慰問の一行

同盟寫眞　　內地ニュース　　第一〇三號

◎氷見町大火の跡

（東京）十三年九月七日

六日の富山縣氷見町大火は颱風の余波に煽られ町の大半千五百余戸を燒失、重輕傷者二百九十二名を出した。寫眞は罹災民

◎荒木文相學生勤勞作業視察

（東京）十三年九月八日

目下市内私立大學專門學校の集團勤勞作業部隊は赤羽被服廠、石神井公園、田園調布、多摩川風致地區等で汗の奉仕をやつてゐるが荒木文相は八日午前十一時赤羽の陸軍被服本廠を訪れ學生の勤勞作業振りを視察した。

寫眞は荒木文相の視察

（東京）十三年九月八日

世界各國の著作權問題統一のためベルヌ、ハガアナ兩條約合併の機が　動きこのため國際代表會議が來夏ブラッセルに開催の予定でベルギー政府よりこの合併原案を我國に送付意見を求めて來たので八日午前十時から内相官邸で著作權審査會を開いた。寫眞は内相の挨拶

◎ベルー公使信任狀捧呈

新任ベルー國特命全權公使ドクトル。リカルド。リヴエラ。シュレイベルー氏は八日午前十時內藤式部官の迎引にて宮中に參內。天皇陛下に謁見仰付けられ恭々しく信任狀を捧呈した

宮廷は參內のベルー公使

◎從軍のブラジル武官來朝

七日夜横濱入港のさんとす丸で從軍觀戰武官として派遣されたジヨゼ工兵少佐、日露戰爭當時滿洲移民の總統を勤めた事のある花田仲助翁の愛息チリー、アルゼンチン、ブラジル三國の海軍武官花田行武氏夫妻等の顔で賑はつた。

寫眞は一、ジヨゼ工兵少佐

一、花田夫人と出迎への仲助翁

同盟　二ニース　九月　[illegible]日

[illegible]

世界の注目をひいた

獨逸秋季大演習

去る八月十四日に開始された十二週間に亘る

獨逸軍の秋季大演習は熱烈を極めて居る　[illegible]は前線に統監する

ヒットラー総統と砲兵隊の活躍

◎六大学野球選手
神宮参拝
九月十六日

◎萬博第二回抽籤發表

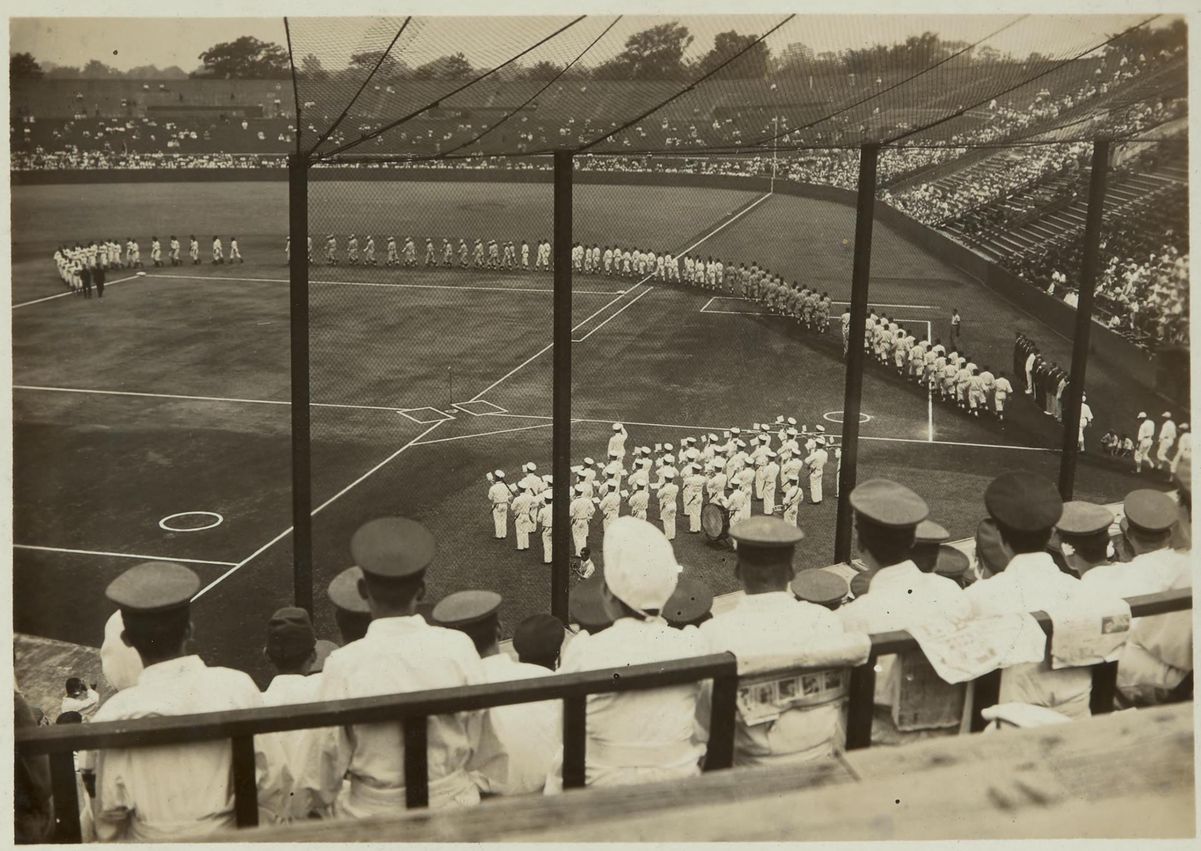
（東京）十三年九月十日

◎自肅の六大學リーグ戰開幕

東京大學野球聯盟秋季リーグ戰第一日は十日午前十一時半から入場式に次いで明帝、早立の各一回戰二試合を擧行、第一戰明帝戰には帝大は肩を痛めた遊擊手須田を光武に替へ、明大は新銳の松井を捕手に立て、兩軍とも主戰の由谷と清水の兩投手を擁して對戰した。

寫眞は

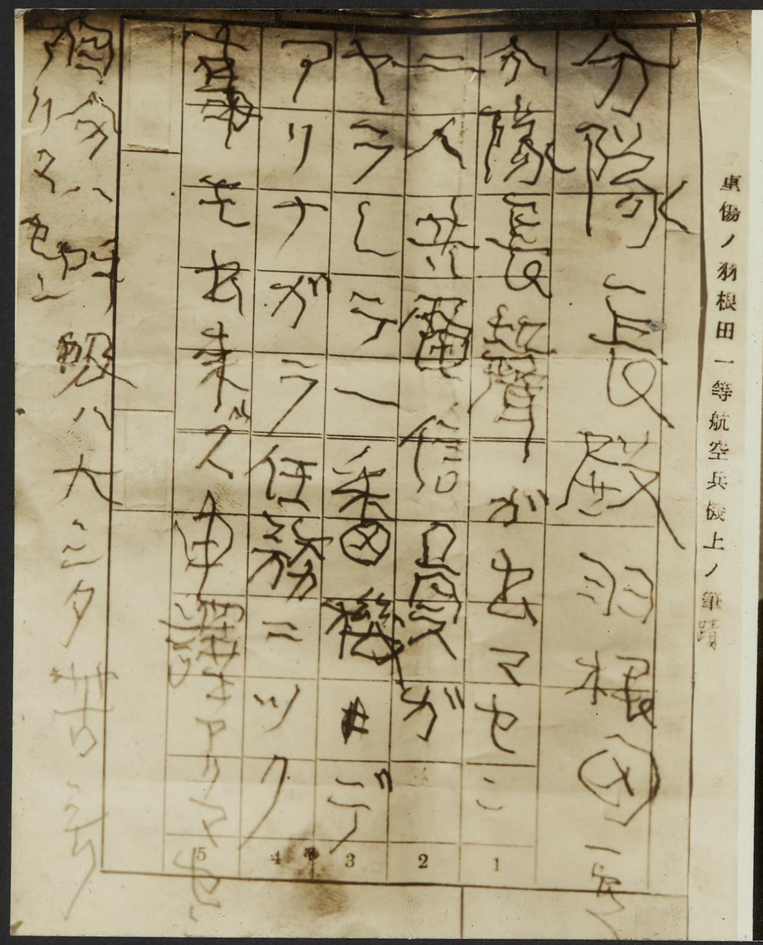
一、入場式



同盟　内地　ニュース　九月十一日

○十六機撃墜　血の年記

壹八月十日佐多少佐指揮の空軍の一機は長駆敵空軍新根棕地湖南省衡陽を襲ひ地上に去った大型機中型機六機を火上他の六機を爆破し更に挑戦し来った敵戦斗機三十機と壮烈な空中戦を繰ひ十六機を撃墜我が方は戦死一名重傷五名を出つゝ全機基地に帰還したがこの空中戦に一の指揮官として勇猛を發揮した野中太郎大尉の血涙の年記が發表された、雪兵は戦斗中胸部貫通銃創を受けた前根向一等航空兵が震える年で認めた血涙の書と野中太郎大尉



重傷ノ羽根田一等航空兵機上ノ筆蹟

①

ペニ部隊 十三氏出發

ペニ部隊の先陣陸軍雅十三名は十月五年大阪を
レイニボーに參集まれり此時神宮に參拜せなく
第三府東京取發「當上下出發した一れは
先已鉄軍、薩州士卯、燒井孝作、岡北松太郎、丹羽
文雅、岸岡正史、當次有爲男、中谷孝雅、淺野
晃及久米正雅の諸氏に紅一点の林芙美子女
史が加はる爲る 學無は此時神宮參拜の

国賢内地ニテス　九月十一日

回西班牙公使に記念品贈量

西班牙公使カスティヨ氏は非常任期満ちて帰
國の途に就くことに与ったが日、独、伊、和、美、英
会すは二の防共の友人に紀念品を贈ることゝ
り十日午前十時麻布市兵衛町の同公使
館に正國理事長以下数名が訪れつゝあり
所には千人針を公使夫妻には日本の人形を
贈量した写真は右側が公使夫妻と令嬢
嬢ゝゐるのは逸井武夫氏令嬢悪津子さん

◎防空演習第一日

（東京）十三年九月十二日

東部防衛司令部管下一府十八縣下に亘つて行はれる本年度第一回東部防空演習は十二日午前九時薄曇りの帝都の空を衝いて一齊に警報と共に幕を切つた。

寫眞は

一、內務省內の防空訓練統監部

一、傳令班の活躍

一、街頭で活躍する警報班

一、內務省に掲げられた統監部の看板

警報班第一分遣所
二之部防護團本部

内務省
東部防空訓練統監部
（第三階）

◎乃木神社例祭

（東京）十三年九月十三日

十三日は乃木將軍逝いて二十六年。赤坂乃木神社では午前八時より恒例の乃木祭が杉谷社同祭主となり嚴かに執行された。

寫眞は女學生の參拜

◎ペルーの第二世達來る

十三日早朝横濱に入港した郵船墨洋丸で南米ペルーのリマ市に「時習寮」と云ふ私學を開いて在留邦人の子弟教育に一身を捧げてゐる長嶺丹六氏（三六）が同校卒業生で日本の中女學校入學希望の少年少女二十二人を連れて歸國した。寫眞は中央長嶺氏

◎水も漏らさぬ防空訓練

爽かな秋晴れに迎へた防空訓練第二日―十三日は特に東防管ト一府十五縣に醍岡縣も參加第一期訓練中の精華と目される防空監視の實戰的訓練に移り幾事を成績を收めた。

寫眞は

一、燈火管制の淺草雷門附近

二、空襲警報で通行人も軒下に避難

同盟寫眞　第一一號

◎海のペン部隊羽田出發

（東京）十三年九月十四日

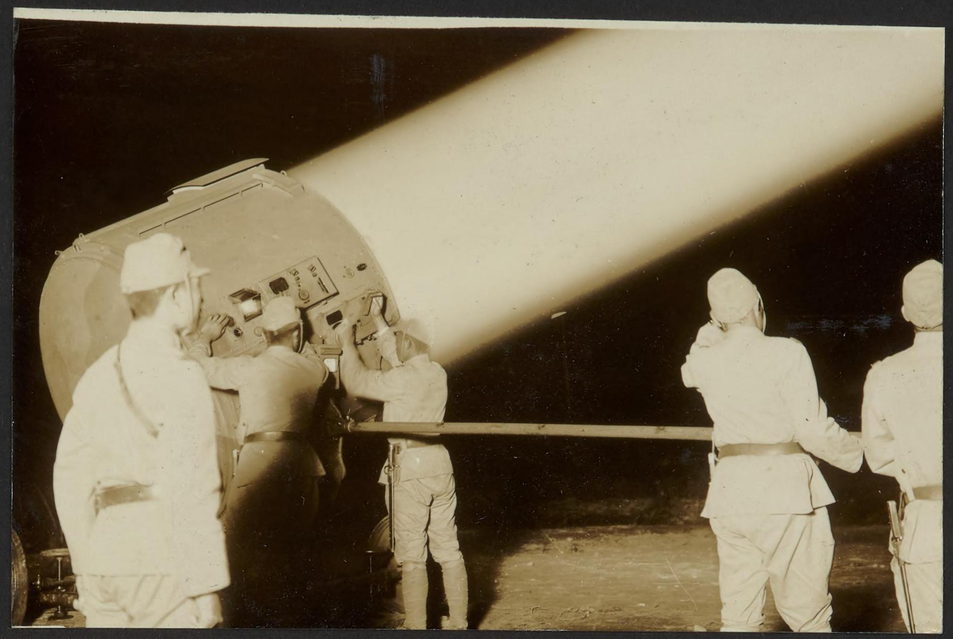
陸軍從軍の文士部隊、菊池寛、佐藤春夫、吉川英治、小島政二郎、北村小松、濱本浩、吉屋信子一行七名は海軍差廻しの廿一人乘大型ダグラス機に搭乘十四日朝八時羽田空港の朝霧を衝いて勇躍上海に向つた。

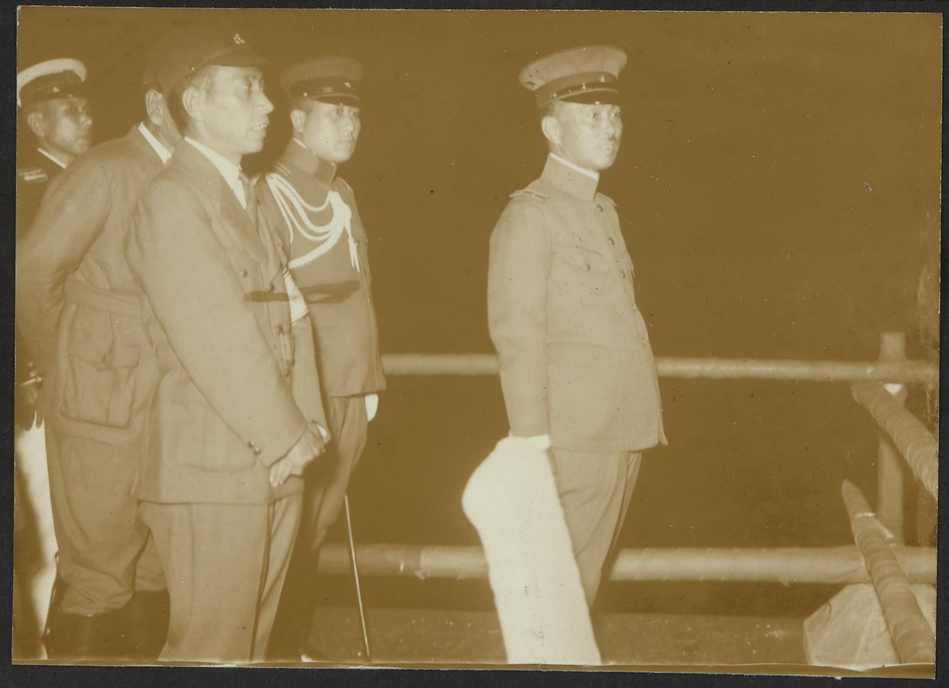
寫眞は羽田空港にて

◎いよ實戰訓練へ（第三日目）

時ならぬ、晩の空襲」に防空訓練第三日は明けた、南北關東は午前五時五分から東北地方は五時十分からサイレンの吼り、警鐘の響きが未だ明けやらぬ夢を破つて敵機襲來を報じ大部分徹夜の陣を固めた各部防護團、警報班の壯烈な活動を展開した。

寫眞は一、氣球隊の活躍（〇〇基地にて）
二、照空隊の活躍（〇〇基地にて）
三、銀座松屋の屋上より御視察中の朝香宮殿下
四、視察中の末次內相（銀座通り）
五、閑院宮殿下御視察（東部防衞司令部）





流轉祭り唄
いろは小唄
上海の街角で
月のセレナーデ
日暮の窓で

同盟寫真　内地ニュース

◎滿獨新貿易協定成立

（新京）十三年九月十四日調進滿独兩國間に締結された新貿易協定の歴史的調印式は十四日午後三時より新京興亜街の國務總理官邸に於て滿州國側全權委員蔡外務局長官獨逸側全權代理公使によって嚴肅裡に行はれた。

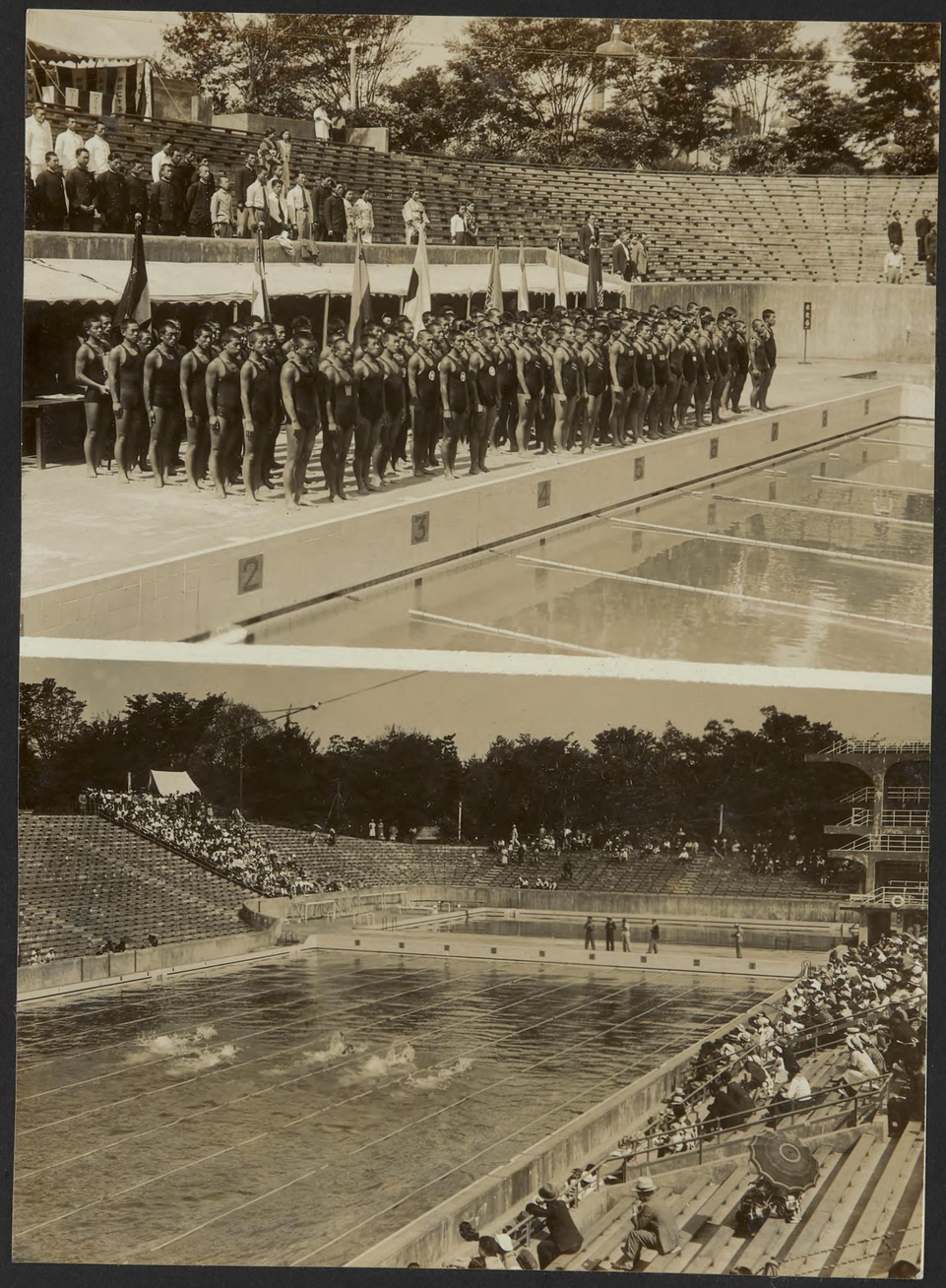
寫真は署名調印する全權、右は蔡委員左はクノール委員。

◎第十七回全日本水上大会開かる

（東京）十三年九月十七日

待望の豪華秋の争覇戦第十七回日本學生選手權水上競技大会初一日は十七日正午神宮プールにて開かれた。

写真は一、入場式　一、八百米自由型豫選の全景

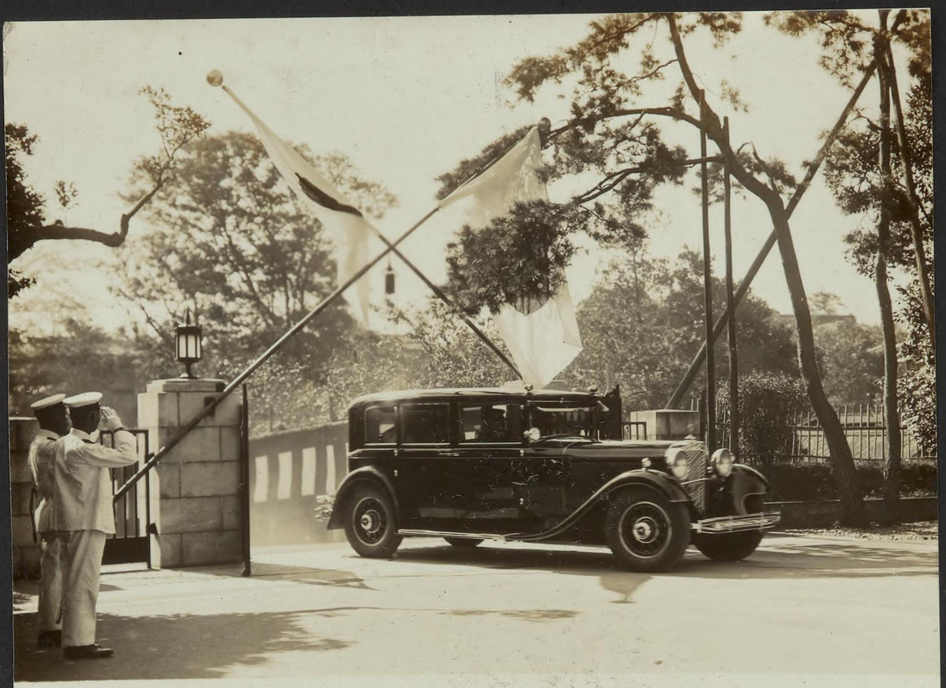


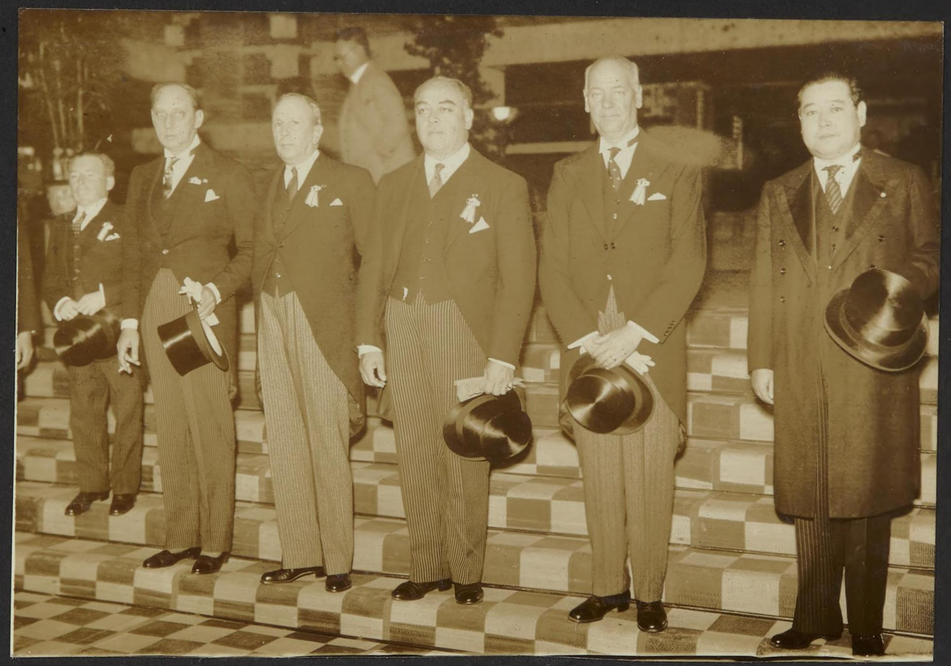
◎大元帥陛下
海軍大學校卒業式に臨御
續いて海軍館へも行幸

（東京）十三年九月十五日
大元帥陛下には十五日御二年振りにて海軍大學校へ行幸續いて海軍館へも初の行幸あらせられた。

御寫眞は

一、海軍大學校行幸
一、御下賜拜受者（左から）源田實少佐（廣島）魚住順治大尉（兵庫）室井捨治大尉（石川）大石宗次大尉（神奈川）
一、海軍館初の行幸（山本大臣の御説明で樫村機を天覽）





同盟寫眞　　内地ニユース　第一一四號

◎秘露使節團長以下賜謁

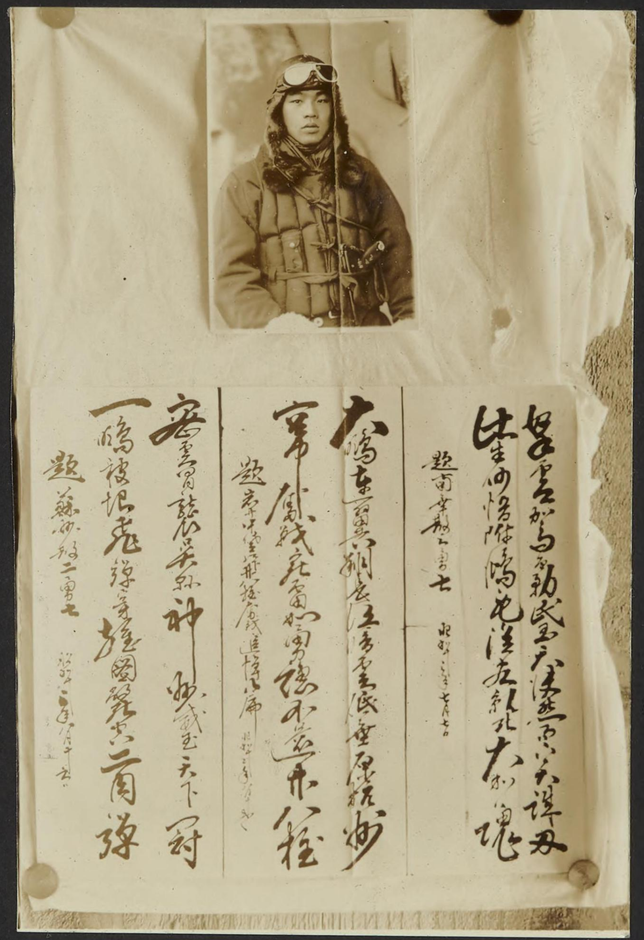
（東京）十三年九月十六日

秘交誼親善を更に厚くする重き使命を帶びて去る十四日遙々來朝した訪日秘露經濟文化使節團々長フエンテ將軍以下四名は十六日天皇陛下に謁見仰付けられ敬意を表し奉つた。

尚ほ第一回通商審議會は午后二時半より商工會議所で開かれた。

寫眞は一、參內の一行（於帝國ホテル）

一、第一回通商審議會（於商工會議所）



◎壯烈悲壯、堤機の最後

去る八月十六日わが海の荒鷲が粤漢線路銀蓋坳鐵橋を爆破した際敵彈に傷いた堤眞澄一空曹（二七）（宮崎縣兒湯郡美々津町）機が突如隊列を離れて降下を始め悲壯な通信を打ち續ながら壯烈な自爆を遂げたが最後迄堤機の警戒護衛に當つた福井義男一空曹の血涙の手記が發表された・寫眞は堤一空曹と自書の詩

◎日・J國お相撲見物

過日東京各方面を見學してゐるヒツトラーユーゲント、シユルツエ團長以下三十一名の一行は十六日午前九時から東京府養正館並に有栖川記念公園を見學した後午前十時半出羽海部屋を訪れ日本の國技「スモウ」を見學した眞はお相撲見物（出羽海部屋にて）

同盟ニュース写真通信　九月十八日

[1]

全国佛教徒の報恩托鉢行脚

全国佛教徒の報恩托鉢行脚は満州事変第七回記念日の本日全国一斉にはれた。帝都では一千名の僧侶並に佛教関係大中女無子生が天かつ、午前八時日比谷公會堂には本合市中をかけ進、宮城前に至り皇居をと遥拝した。写真宮城前に敷き列した僧侶一行

2

横須賀に於ける海軍合同条
追般中支流泉鎮に於いて壮烈な戦死を遂げた、故加藤
仁太郎海軍少将等二十三柱の英霊の為めに本日、海軍
海兵団に於いて第十四回海軍合同条が行はれた。
雪ちゃは横須賀到着、式場向小勇士の遺骨。

図 飛沫乱れて飛ぶ学生水上第三日図。（於神宮プール）
（第十七回全日本学生選手権水上競技大会）
写真（上）八百米決勝のゴール
（下）百米手泳で世界タイ記録を出した葉室君の
ゴール・イン（手前）。

◎獨青年團大島へ

（東京）十三年九月十九日

海の公園大島に上陸したヒツトラー・ユーゲント一行は三原山に登山、生れて始めて見る活火山の活動に驚嘆の聲を放つた、寫眞は駱駝に乘つた獨青年團

◎コンノート殿下弔祭式

去る十二日薨去あらせられた英國皇族アーサー・オブ・コンノート殿下の弔祭式は十九日午前十時三十分芝區榮町セント・アンドリユース教會に於て執行された。天皇陛下御名代として秩父宮殿下御參列あらせらる。

寫眞は英大使に御握手を賜はる秩父宮殿下

(○)江上部隊の活躍

(○○)元同盟

七、敵陣地猛爆を終へて海の荒鷲かへる

八、溯江前進する我○○艦威容

7

8

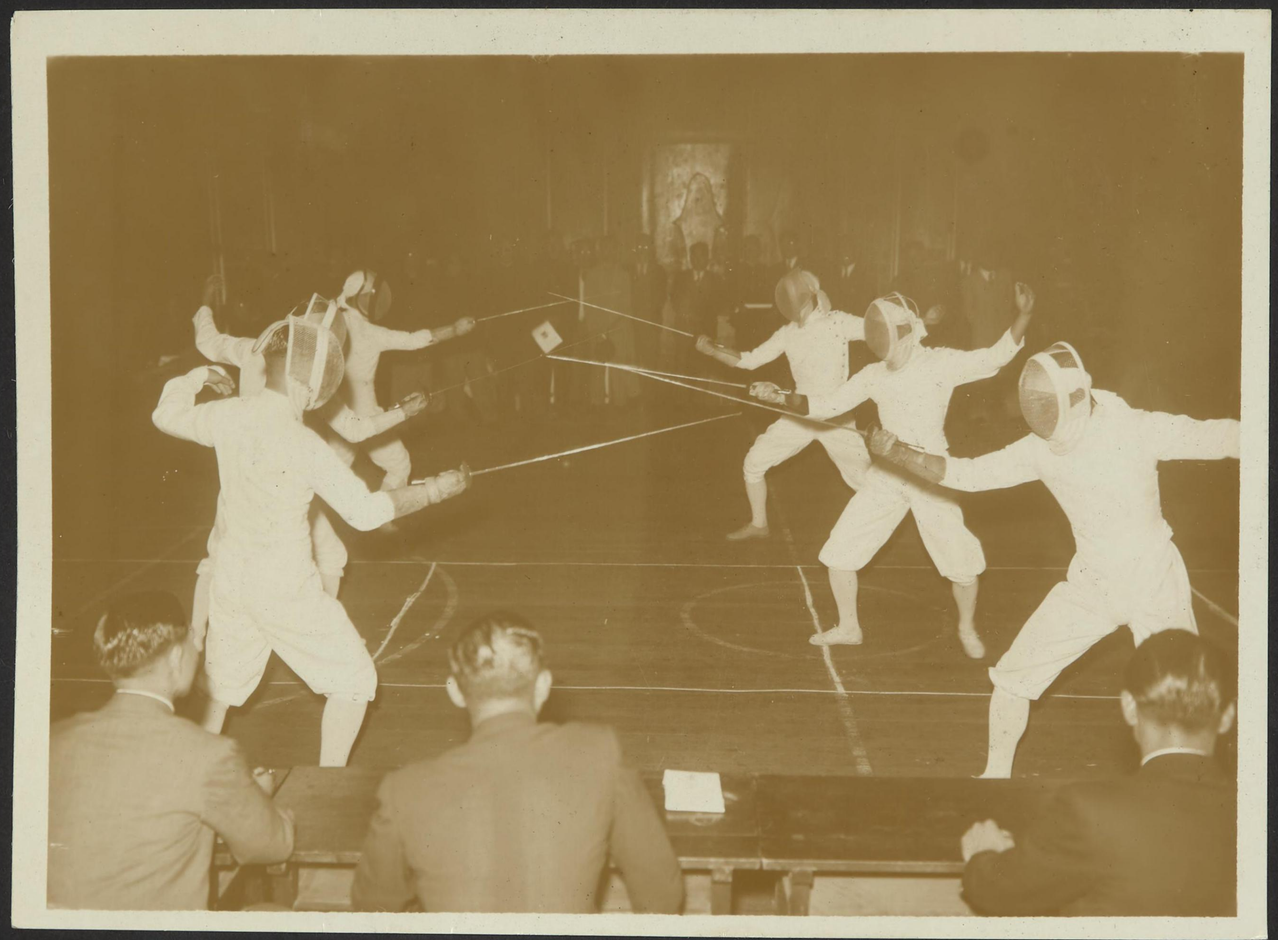
同盟　一百五十二ヶ大　九月末日

第十五回問題　遂に最後の関頭へ
仕上ゲ段階はスプーテン黄の最後通牒を
一蹴国境方面へ全の精鋭を誇る機械化
部隊を續々部及今やスプーテン地方は生ッ
ス部隊とスプーテン黄義勇隊の衝突各地に
勃發、未曾有の混乱を呈してゐる　写真は
国境方面に増派せられた　十五回コンテ兵
隊の現地訓練

（讀賣）十三年九月二十一日

◎ペルー使節京濱へ

訪日ペルー使節一行は經濟各團体の招待で廿日午后七時京濱を見學した。寫眞は小夜福子と握手の團長



◎フエンシング予選
全日本フエンシング選手權大會關東予選第一日明大對帝大、慶應對YMCAの二試合は廿日午后六時から京橋泰明小學校で擧行した
寫眞は明帝戰

◎女子野球チーム出現

（ホリウツド）發同題

物好きなホリウツド子をわつと云はせたスタ

ー連の女子野球チームが結成されました

寫眞はリチヤード・アーレン君のコーチを受け

るチームのメンバー

◎宇垣外相獨青年團招待

獨青年團一行は廿一日夜宇垣外相招待お茶の會に臨み外相の健康論一席を拜聽した

團員は外相と一行

◎ペルー使節泰明小學校へ

ペルー使節團一行は二十二日午前十一時泰明小學校を參觀した。

寫眞は泰明小學校にて

同盟寫眞　　支那ニュース　　九月二十三日

◎支那軍より

一、漢口郊外スタンダード石油會社附近の敵陣地

一、漢口日本租界日本人倶樂部建物角にバリケート構築